

祈りの絆

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。http://www.bapren.jp/

◆これまでの活動

*野田村仮設住宅支援

青森・岩手チームと北海道連合との協働で、毎月第3金曜日に支援に出かけます。チーム青森・岩手からは鮫、八戸、三沢、小松ヶ丘伝道所、北海道連合からは北は旭川から南は函館まで毎回3〜5名の方が教会から派遣されて参加していただいています。北海道連合の函館、函館美原教会は函館から青函トンネル経由で青森から八戸まで約3時間〜4時間かけて、他は苫小牧からフェリーで八戸港まで7時間〜8時間かけて鮫教会へ来て、野田村まで久慈市を経由して車でおよそ1時間半。午前野田中仮設(約110世帯)、午後泉沢仮設(約30世帯)の集会所で、それぞれお茶っこを通して、支援を展開しています。また、集会所のない小規模の仮設にはお土産を持っていき個別に訪問しながらお話をしています。門前仮設(15世帯)、米田仮設(15世帯)、下安家仮設(8世帯)は訪問するボランティア団体も少ないようです。直接ボランティアに参加できない教会では(カルバリー、青森、北海道連合諸教会)仮設へのお土産、お茶会へ持っていくお菓子、備品などの献品をして働きを支えてくださっています。



野田村仮設住宅支援

*緑が丘東7丁目仮設住宅

郡山コスモス通りキリスト教会の皆さんが昨年の8月から毎月1度、支援活動を展開している仮設住宅です。原発被災地から避難してこられた119世帯の方々が、いつ、ふるさとに帰ることができるのかわからない先の見えない不安の中を過ごしておられます。ここでの活動は、歌声喫茶、駄菓子屋さん、マッサージ師による施術と手もみ、また、2ヶ月に一度水を配布したり、時々、ペットボトルにお米を入れて配布しています。今月の支援日は、あんこを2kg、もち米を2升たいて、みなさんと一緒におはぎを作った食べました。事あるごとに、女性連合の「あいあいプロジェクト」支援によるサポートをいただいたり、また、各地からボランティアの方々が足を運んでくださって共に支援の業をさせていただいています。



*大槌町小槌第7仮設、第4仮設談話室建築状況
第4仮設増築は、太田伝道所の石井努氏、第七仮

設新築は、仙台北教会の古川力氏のもとで10月9日より工事が始まり10月末には出来上がりです。11月17日には、テキサス連盟よりクリス氏が来日され、開所式を行います。談話室での様々な活動を通して、一人ではないこと、生きる喜びをほんの少しでも見つけていただけたら幸いです。



第7仮設談話室 新築



第4仮設談話室 増築(左側)

◆今後の活動

*現地支援委員会ブース開設

第58回定期総会(天城)の時に、現地支援委員会ブースを開設いたします。宮前仮設住宅や緑が丘東7丁目仮設住宅のみならず、宮城チーム、福島チームなどの支援活動の様子をDVDで紹介するコーナーや写真でみる「現地」を掲示板で紹介させていただきます。ぜひ、お立ち寄りください。

◆遠野ボランティアセンターへ

10月9日のお茶会には、浜松教会の壮年2名がボランティアに来てくださいました。仮設の方12名、ボランティア4名の合計16名で行いました。ちょうど、この日から小槌第4仮設の集会所エコハウスの増築工事も始められたところでしたが、さいわいエコハウスを使用することができました。増築にあたり、建物の外側についている玄関のデッキや階段をいったん取り外す作業を見ながら、エコハウスが広がったらどんなことをしようか、そんな期待に話も盛り上りました。小槌第7仮設にも談話室ができることを話すと、友だちがいるので今度行ってみるという方もおられました。



大槌町小槌第4仮設住宅 お茶っこの会

東日本大震災被災地支援委員会 原発課題班コラム 原子力発電所と放射能について 知っておきたいこと⑤ 必要神話その2 地球温暖化について

「危険性はあっても原発がどうしても必要」という必要神話の中に「地球温暖化対策になるから」という理由も挙げられます。それに対しては以下の三つの事実を考えてみましょう。①原発は直接海を温めているので温暖化を進めています。②原発は二酸化炭素を出さないわけではありません。③二酸化炭素だけが地球温暖化の原因ではありません。

- ① 原発は一機で毎秒 70 トンの温排水を海に流し海を直接温めています。原子炉の冷却のために使った大量の水を海水よりも7℃高い状態(法令限界)で捨てているのです。日本の原発が海に流すお湯の量は、日本の川から海に流れる水の量の25%にもあたります。これは地球を直接に温暖化する行為です。さらにこの温水による魚介類の死滅が報告されています。
- ② 電力会社が言うとおりに「原発は発電時には二酸化炭素を出さない」けれども、逆に言えば発電時以外には二酸化炭素を出しています。たとえばウラン採掘やウラン濃縮、核燃料輸送、使用済み核燃料処理といった作業時には二酸化炭素を大気中に排出しています。また原子力発電所はその特性から同時に同じ出力の火力発電所を建設しなければ維持できない構造になっていますので、その火力発電所からも二酸化炭素が排出されます。
- ③ 地球温暖化については原因がよく分かっていません。すべてを二酸化炭素のせいにするのは短絡です。そもそも地球が本当に温暖化しているのかも疑問です。実は世界中の気温を合算・平均化すると、この 10 年間で地球は低温化傾向にあるからです。高温化と低温化を繰り返すことは地球のリズムなのです。最後の氷河期から温暖化して現在に至っている理由は、明らかに人間による二酸化炭素排出ではありません。

原発課題班(濱野道雄)

◆祈りの課題◆

- ①被災された方々の必要が備えられるように
- ②小規模の仮設への訪問とケアが十分に出来るように
- ③北海道連合とチーム青森・岩手の協力関係が豊かに祝されていきますように
- ④原発事故が一日も早く収束しますように。
- ⑤被災された方々が冬に向けての準備が十分にできますように。
- ⑥クリスマスの計画、準備を覚えて。

お茶っこの最後には、仮設の方々の話を黙って耳を傾けていた浜松教会のお二人に、少し声を聞かせて欲しいとのリクエストがありました。一人は歌を、もう一人は家族との笑い話を披露してください、その場を盛り上げてくださいました。

震災から1年7ヶ月が経って、笑顔もだいぶこぼれるようになりましたが、まだまだ笑うことのできない人もたくさんいます。また、これから冬にかけてボランティアの数もめっきり減ってきます。どうか、これからも被災地を忘れずに祈りに覚え、ボランティアに来てください。

(遠野ボランティアセンター 主事 佐藤浩)

東日本大震災被災地支援募金にご協力ください

すべての支援活動は、募金によって支えられています。

| | | | |
|------------|--------|------------|------------|
| ◇2012年度目標額 | 2000万円 | ◇4~9月支援募金額 | 9,138,199円 |
| | | (内訳)国内分 | 6,562,053円 |
| | | (内訳)国外分 | 2,576,146円 |

上記の他に指定(主に海外から)募金12,764,626円があり、指定された用途に用いられます。

お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先:郵便振替00140-9-180881宗教法人日本バプテスト連盟総務部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。※募金は極力、教会単位でご送金ください。

海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。